

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 【特集】まちづくりの人づくりー協働のまちづくりに人と地域が動き出す
- 8 読者プレゼント当選者からの応援メッセージ
- 9 けっぱれ！地域6次産業化 いわて奥州「結」結成
- 10 軽自動車税は4月1日が基準日です
固定資産税に関する縦覧や閲覧
姉妹都市 掛川だより
- 11 納税は納め忘れのない口座振替のご利用を
百歳おめでとう
- 12 I L C 希望のひかり
- 13 奥州の冬の祭り グラフ
- 14 市民の手づくり舞台 グラフ
- 16 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会情報
- 17 市政ズームイン
- 18 まちの話題
- 20 夢トーク
青春讃歌
- 21 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 22 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 23 子そだて広場
子そだて行事予定
- 24 情報あらかると
- 28 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市

キラリ輝く
奥州人

地元の米粉を使用して
衣川の良さを全国に発信

高橋 恵美さん（34歳）
〃衣川区正板〃



一つ一つに真心を込めて丁寧に焼き上げる

衣川区の山里に、春の訪れを感じさせる柔らかな日差しが差し込む。ブラウンドールの高橋恵美さんは、その山里にある自宅に工房を構える。専門学校で英語を学んだ恵美さんは、その語学力を生かそうと市内の旅行会社就職。一関の代理店に勤務していたころ、美容師の康陽さんと出会った。康陽さんの転勤を機に、仕事を辞め結婚。待望の子どもも生まれた。

転勤先から夫と共に衣川区に戻っても子育てに専念。「子育てをしながらできることを考えていた」という恵美さんは、妹の晃菜さんの力を借り、平成26年4月に人形焼の販売を開始した。現在、産直のほか、インターネットでの販売も手掛ける。「子どもからお年寄りまでおいしく食べてほしい」と、地元の米粉やリンゴを使って6種類の味で楽しませている。



たかはし・えみ◎昭和55年、衣川区生まれ。人形焼の製造販売を行うスイーツスタジオ「ブラウンドール」の代表。自宅に工房を構え、妹と二人で経営。家族は、夫、娘、息子、両親、祖父母、そして曾祖母

〈今月の表紙〉



第26回全日本農はだてのつどい（いさわのまつり実行委員会主催）が2月14日、胆沢野球場特設会場で開催されました。この地域に伝わる伝統的な風習を今に残そうと、毎年盛大に開催しているこの祭り。その年の豊作を願い、古くから伝わる祭事などが行われました。

写真は、雪が舞い散る中に行われた「縄ないチャンピオン決定戦」の一コマ。5人1組のチームで競う団体戦では、各チームとも練習を重ね培った技術を披露し、寒空にもかかわらず、熱い戦いを繰り広げていました。

【関連記事：13ページ】

特集 まちづくり
の人づくり
ー協働のまちづくりに
人と地域が動き出す

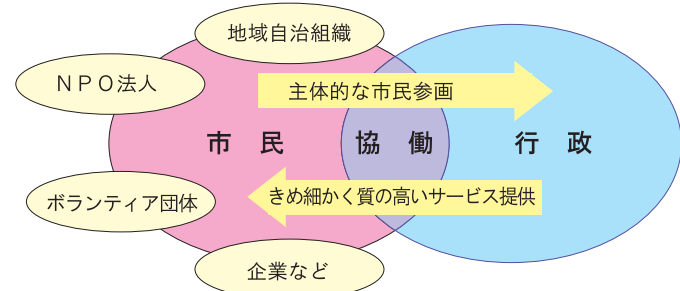


市は、市民との協働によるまちづくりを市政の大きな柱に位置付け、その担い手を育成する「協働のまちづくりアカデミー」を25年度に開講。2年間にわたり研修を行ってきた。この春、研修を終えた1期目の受講生たちが地域へと羽ばたきます。今回は、アカデミーの活動と今後の動きについてお知らせします。



〇協働のまちづくりアカデミー受講生と地域住民と一緒に取り組んだアクションプログラムの様子

■図1 協働のイメージ



協働とは、市民がまちづくりの主体になる「住民自治」を実現するための手法の一つ。市は、自治基本条例で「各主体が、互いの自主性を尊重しつつ、それぞれの役割と責任に基づき、対等な立場で相互に補完し、協力すること」と定義しています。

協働ってなんですか？

協働の担い手は、自治会や町内会、地区振興会などの地域自治組織、NPO法人・ボランティア団体などの市民公益活動団体、そして、公益活動を行っている企業などが挙げられます。